ROTARY CLUB OF KANAZAWA-NORTH

金沢北ロータリークラブ
例会日：木曜日 12:30～13:30
例会場：卯辰山・ホワイトハウス
事務局：金沢市尾山町9-13・金沢商工会議所
TEL〈0762〉63-1151
会長：岡田 林太郎　幹事：釣見 栄一
情報委員長：清水　忠

1977・10月13日　第100号

100号記念特集号

〝栄光への4と100と200

柴田　三郎

4……昭和48年10月3日は、われらの金沢北ロータリークラブ誕生の日で、こんど満4周年を迎えたのである。

100……クラブ会報第1号が創刊されたのが、その月の11日で、以来1回の支障もなく、ここに第100号を数えるに至った。

200……創立総会の行われたときが第1回の例会で、爾来1回の滞りもなく、去る10月6日が、正に200回目であった。

これらの貴重なる集績が、この月に相前後して登場したのも光輝ある奇縁である。もちろん、年数や回数の多いだけをもって尊しとは決して言えない。肝要なのは、その内容の如何である。

会報は、ロータリー教科書の最も重要なる一つであり、例会はロータリーの修練の道場、即ち教室であり、4ヵ年の経過は大学の修了である。ここに立って、われわれは、いま自覚と反省を深め、いよいよ次の課程への進学に努めねばならない。基礎は出来た。ロータリアンとしての個人はもちろん、全会員の連帯による共同作品であるクラブ活動も、共にこれからが正念場である。

金沢北RC4ヵ年の独創的ユニークなる実績の主なるものだけを挙げて再吟味して見たい。

A……クラブ創立の記念事業の一つとして、ロータリー梅林建設の雄大なる計画を立て、継続事業として発足。51年春には第一次を完了、開花を見た。

B……49年11月、〝職業奉仕に関する石川県研修会〟の開催を提唱し主催した。

C……50年4月、ロータリー文献〝おゝロータリアン＝職業奉仕とは〟84頁を編集し、9,000部が出版された。

D……51年3月、I.C.G.F.のホストとなりユニークな企画を推進した。

E……51年3月、かねて提唱の〝城北地区開発促進同盟会が発足し活動を展開。1976年度RIの〝意義あ

る業績賞〟を受ける。次いで〝県立武道館〟の誘致に成功、52年6月、6億1,100万円の建設着工となった。

F……52年4月、第2次のロータリー文献〝おゝロータリアン＝ロータリーとは〟150頁が編集され 5,000部出版。

G……クラブ創立第2年目に、世界随一であろう新機軸の委員会構成が実現した。職業、社会、国際、例会、拡大、企画、情報、親睦、修練、友好、地域開発などで、委員長は全部理事であり簡潔に敏活な展開がある。

H……健康で明朗な職場と、労使の親交を深めるための、会員の職場対抗親善野球を創始、51年度14チーム、52年度13チーム参加、冬期には卓球大会を実施、望外の好評。

一段と清新な意欲を高め、ロータリーの正道、栄光を求めつつ、わが道を歩き続けようではありませんか。

〝空高く金木犀のかおる朝〟

〝わがクラブ草創の頃の思い出〟(1)

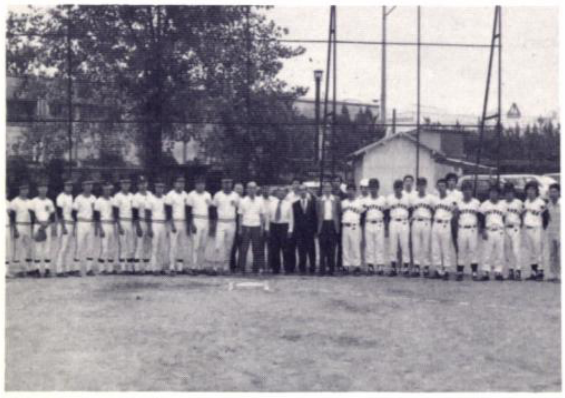
元会長　越野　民男

1．私のロータリー入会

先日6ヵ年の皆出席賞をいたゞいた。思い出は昭和46年に遡る。4･5月頃だっただろうか。某氏と酒を汲み交した時、何かのはずみで「ロータリーへでも入会させていたゞいて、もう少し社会人にならなければ」と口を滑らせたのが事の始りであった。

その後、すっかり忘れていた8月の末、突然入会の通知が舞込んで来た。

指定された8月某日の11時、金沢東RCへ出頭して見ると、中島徳太郎氏をはじめお歴々の方々から、たっぷり1時間30分、いわゆるロータリー精神を注ぎ込まれたが、さっぱり分らず、〝出席が一番大切だ〟という事以外頭に残らなかったのが実感である。



例会場では、推せん者山田安隆氏の紹介の後、入会の言葉を一言と云われたが、何分にも医師会以外の席でしゃべった事のない私にとって、何を云ったのか全く無我夢中の思いであった。

誰でも土曜日を楽しいという。それは次の日が日曜だからだ。

しかし、当時の私は、月曜日の例会が気にかゝり日曜の楽しみが半減したのを憶えている。

ロータリーへのおそれ――そのような初心を、私は何時までも大切にしたい。

2．金沢北RC設立の歩み

漸くRCにも馴み、例会が苦痛でなくなった頃、〝東クラブがスポンサーとなって新クラブを作る。テリトリーは浅野川以北〟という事を耳にした。48年2月の理事会で、それは決定的となり、会長を山田安隆氏に、そしてクラブ名を金沢北RCにという線が打ち出された。私は、山田氏と同一行動をとるという心境であった。

同年６月頃、石亭へ呼び出しがあった。高桑治氏、富久尾堅氏、山上嘉久氏、鈴木菊男氏、山田芳弘氏、そして中島徳太郎氏の諸氏が、山田安隆氏、大村精二氏それに私を囲んで、北クラブ創立へ向って前進するよう強く訴えられた。

８月、山田氏宅で何回も会合を持った。その間、三田良信氏の移籍を得、会員ではなかったが、ホワイトハウスを例会場にしようという事で、浅田豊久氏にも会合に出ていたゞいて、夜おそくまで打合せを重ねた。

会員をどのようにして探すか、当時有力者は殆ど金沢城北ライオンズに入会しており、ロータリアンに相応わしい人物を見出すのは容易でなかった。

吉田昭炳氏や釣見栄一氏のような地元の有力者、俵氏や米沢氏や本江氏のようないわゆる老舗の主人の入会も、今後の発展の大事な要素と思って、足繁くかわるがわる説得を重ねた事を思い出す。

３．創立総会へ船出の頃

８月25日、ホワイトハウスの打合会では、RIへの提出書類、職業分類表の作成、バーナーの原案、等すべてを点検し、10月３日を創立総会とすること、山田会長、越野副会長、大村幹事の執行部でスタートする事を確認した。

忘れられないのは、此の席で、中島特別代表から、我々がロータリアンとして最も尊敬して来た柴田三郎氏の北クラブ参加が発表された事であった。

４．金沢北RC出航す

10月３日、安田常男ガバナーをお迎えして、わが金沢北ＲＣは出航した。

その後の経緯は、チャーターメンバーの方々ご存知の通りなので、ペンを措くこととするが、今にして振り返えれば、当時は未だオイルショックの前の高度成長期にあったために、無事スタートできたのではないかと思う。

不景気に喘ぐ現時点ならば、北クラブの創立も難しかったのではないだろうか。

今一つ思い起すのは、出席の問題である。入会をすゝめる時に拒否される最大の理由が出席の問題にあった事を思う時、あの草創の頃、欠席者が多かったならば、今日のわがクラブの発展はなかったのではないかという思いにとらわれる。

爾後２年間、わがクラブが皆出席を続け、昨年度は地区内最優秀クラブとして表彰されたのも、創立総会で皆出席を叫びながら、舵さばきを取ったためだと思っている。

それから４年の歳月が流れた。

わが北クラブにも色々の事があったが、私は今静かにロシアの先哲の言葉を思い越している。

〝人間にとって最大の幸福は何か。人から敬愛される事ではないだろうか。〟

人を敬い愛するよりは、人から敬われ愛される人間になりたい。ロータリーは、その願ってもない研鑽の場である。

過ぎ去った日々を想い、之からも永劫に続くであろう研鑽の日々を思いながら、筆をおくこととする。

—金沢北RC4周年記念例会講話から—

（文責　清水 忠）

〝わがクラブ草創の頃の思い出〟(2)

元幹事　大村　精二

創立四周年に際し創立当時の思い出ということで――。私は昭和47年９月に親クラブの金沢東ＲＣに入会、早速15周年の記念行事のお世話をさせられましたが、まさかその翌年には新クラブ創立のお世話をするとは考えもみなかったことです。昭和48年、金沢東ＲＣの安田常男氏がガバナーになられた関係上、会員拡大の意味で、どうしても金沢にもう一つのクラブを作ると云うことでした。私の事業所がテリトリーにあるため、私の意志を確認されることなく、７月に中島徳太郎特別代表から、山田会長、越野副会長、大村幹事それぞれ予定者と発表され、驚きのまゝ創立準備に入ったわけです。そしてこんな事を申してお叱かりをうけるかも知れませんが、スポンサークラブは何一つやって呉れません。入会僅か一年、何も分らない私が新クラブ金沢北ＲＣの仕掛人の張本人として、何から何までやらなくては事は進行致しません。本当に暗がりの中を手さぐり状態で準備を進めました。RI本部との連絡はすべて英文です。私は残念乍らその方は全く駄目です。しかしガバナー副幹事をされていた三田良信会員が来てくれることになり、事務的な事についてご協力願い、又創立一ヶ月前にして、柴田三郎会員の移籍意志表示もあり、意を強くしたものです。

このテリトリーはライオンズクラブが先に出来ていてメンバー集めにかなりの苦労を致したわけですが主として金沢東ＲＣ会員の推薦と我々移籍の５人の推薦でようやく38名の同志を得ました。又事務局員がなかなか決まらず、とうとう新聞広告で安田洋子さんを採用、とにかく10月３日の創立総会に間に合せ、RIからの正式な承認もなく、ガバナーの責任において、仮クラブとして発足をみました。

初年度は認証状伝達式が大きな事業であります。まず49年３月に、越野、浅田、山田(淳)そして私の４人は京都国際会議場で行われた、現在の友好クラブの京都洛北ＲＣの伝達式に出席し随分参考にしたものです。その時からすでに京都洛北さんとご縁があったわけです。ガバナーの日程、会場の都合等で６月16日、北陸放送会館、登録料５千円と決定して、４月早々全国各ＲＣへ案内状を出したものの、除々に話がにつまっていきますと、お互いに欲が出てきて、どうも登録料５千円では無理なようですがもう後の祭り、他クラブならおそらく８千円から１万円位にしたでしょう。どうもこのクラブは発足から金もうけが下手くそのようです。まあしかし何はともあれ、全員のご協力で、スマートなセンスのある、そして実のある伝達式だとご好評をいただき大成功を致し大いに満足したものです。

かくして華々しくスタートしたクラブでありますが、誠に浅学でヨチヨチ歩きの幹事であるが故に随分いろんな事がありました。

ガバナーからのお小言、公式訪問の際の柴田先輩の内ゲバ、市内４クラブとの調整、事務局員の交代、会員の問題等……大失敗をしたり時には挫折感を感じたりして無我夢中で全く本業はお留守になり、まさにロータリーにとりつかれたような形になりました。

その当時のことを思えば今日のクラブの様な、意義ある業積賞を授賞したり、おゝロータリアンを出版したりして、地区内の優秀クラブになろうとは思ってもみなかったことです。

こうした私の当時のいろいろな失敗、苦労は今となっては、又とない経験であり、快良い想い出ともなっております。そしてロータリー活動が私の人生に入りこみ、又生活のリズムともなっているような今日今頃であります。

〝金沢北RC4周年を祝して〟

―善循環基地はあなたです―

安積　得也氏

王選手のホームラン世界新第756号が記録されたのは、9月3日の夜である。直径7cmの白球が後楽園球場の空を飛んだのだ。

その前日の9月2日夜、もう一つのものが空を飛んで、羽田から西独に渡った。東京、大阪、札幌で4人の日本人から採血された「世界でまれな血液型」1,200ccである。西ドイツ滞留中で急ぎ手術を必要とする日本人患者を救うために、白人や黒人にはまったくないディエゴ(DIEGO)式の(aプラスbマイナス)型という「世界でまれな血液型」の必要量が、国際リレーによって緊急空輸されたのである。

感動である。

「羽田→西独、血液空を飛ぶ」(毎日)　「邦人を救え！　血液を国際リレー」(朝日)

――などと、社会面トップに大見出しで報道された新聞記事を通読したとき、われわれの心の奥を支配したものは、地球的善循環時代の到来という感触である。

◇――

循環(circle)という文字は、良い意味にも悪い意味にも用いられる。用語例としては、悪循環(vicious circle)という言葉の方が、よりしばしば使われているように思われる。

終戦6年後の1951年、イギリスのオックスフォードで開かれた第3回フレンズ世界会議では、"Break this vicious circle!"(この悪循環を断ち切れ)という一句が、2,000人を超える全参加者の合言葉となった。会議に出席した筆者としても、忘れ得ぬ記憶である。

公害も物価高騰も悪循環ではないか。

犯罪や人心荒廃は言うにおよばず。憎悪から、闘争から、戦争悪にいたるまで、ことごとくがあしき循環現象ではないか。

悪循環はどこかで断ち切られねばならない。

悪循環を断ち切るものは何か。善循環だ。善循環の複合だ。複合善循環によって人類は助かる。

だとすれば、善循環の開始される基地はどこのだれだ。

「善循環基地はあなたです」というのが、私の回答である。

◇――

善循環はどのようにして開始されるか。

職場で「おはよう」とあいさつする。満員電車で前に立つ人の大荷物をひざに乗せる。シルバーシートで若者は気前よく立つ。このような日常茶飯事が、すべてこれ善循環の開始である。

「王さん、私歩けたわ――股関節疾患の少女」(サンケイ)という記事は、王選手が35年6月以来、21回も札幌の国立療養所を慰問していることをわれわれに知らせた。善循環(virtuous circle)の心温かき連続だ。

「貴方が、誰かに期待した微笑が得られなかったら、不愉快になる代わりに、むしろ貴方の方からほほえみかけてご覧なさい。何故なら、微笑を忘れた人程、貴方からのそれを必要としている人はいないのです」(シスター・セント・ジョン講演引用詩より)

さて今日ぼくは、何から始めようか。

第199回例会

◆9月29日㈭晴　ホワイトハウス　12:30～13:30

1．講話
〝写真撮影雑話〟
吉尾開山氏

2．出欠
出席31名、欠席14名
出席率 68.89%
ビジター27名

3．来訪者
岐阜東ＲＣ
黒田孝二君
（冷菓製造）
富山中ＲＣ
須賀正君（眼鏡業）
松任ＲＣ　湯村光造君（鉄道車両修理）
金沢ＲＣ　永山昌一君、竹島郁夫君
北公夫君、松本修成君
北川晶夫君
金沢東ＲＣ　高桑清君、米沢秀男君
竹松俊孝君、三谷進三君
松村久夫君、山本一司君
小菅正夫君
金沢西ＲＣ　辻義治君、坂本宗一郎君
松本隆夫君
金沢南ＲＣ　稲場清君、小堀外茂次君
高桑明君、三野裕君
町寿君、竹山昭夫君、北川泰信君
河崎屋三郎君、諸江汎君

4．会　務○例会委員会　年間賞顕彰
越野民男君　7ヵ年
大村精二君　5ヵ年
松本　智君　3ヵ年
中村省三君　〃
吉山宥海君　〃
○修練委員会　新入会員研修会開催
10月6日㈭　午前11時より

5．幹事報告○10月6日の次回例会は創立4周年記念例会です。
○ガバナー月信配布
○10月9日～15日は青少年活動週間です。

6．ニコニコボックス○年間賞を受けて
越野民男君、大村精二君、松本智君
中村省三君、吉山宥海君

7．今日のニュース　パリ発東京行き日航 472便がボンベイ空港を離陸直後、日本赤軍5名が飛行機を乗取り、乗客 142名、乗員14名を人質とし、刑事犯6名の釈放と身代金 600万ドルを獲得、ダッカ、クウエート、ダマスカス、アルジェと1万 200キロ、134時間の最長記録を作って、人質を全員無事解放した。悪夢のようなハイジャックの一週間であった。

第200回例会　創立記念例会

◆10月6日㈭晴　ホワイトハウス　12:30～13:30

1．記念講話　〝金沢北ロータリークラブ
4周年を迎えて〟
越野民男君

2．出　欠　出席29名、欠席17名、出席率 63.04%
ビジター17名

3．来訪者　富山南ＲＣ　大内三郎君（生命保険）
中島ＲＣ　藤士圭次君（旅館）
加賀ＲＣ　後藤長司君（食堂）
金沢ＲＣ　坪野俊雄君、河野良三君
真柄要助君
金沢東ＲＣ　高桑清君、矩幸成君
平野知康君、柿下正雄君
山本一司君、岡田義明君
東高熙君
金沢西ＲＣ　市原正士君
金沢南ＲＣ　松井正作君
岩崎善四郎君、高桑明君

4．会　務○例会委員会　年間賞顕彰　4ヵ年
浅田豊久君他21名
○拡大委員会　新入会員紹介
飯野健志君（歯科医）
紹介者　清水忠君（推薦者）

5．幹事報告○10月27日の当クラブ例会は、夜間例会と致します。
○京都洛北ＲＣより4周年記念例会の祝電を受領。

6．御誕生日祝　米沢修一君、木島光仁君
清水忠君、宗田市太郎君、出島敬識君

7．御結婚記念日祝　木島光仁君、宗田市太郎君
清水忠君、吉田昭炳君、加藤悦大君
小林隆二君、釣見栄一君

8．ニコニコボックス○新入入会員にあたって
飯野健志君
○飯野会員の保証人の光栄に浴して
清水忠君
○寸志　釣見栄一君

9．今日のニュース　43年、西日本一帯にわたって1万3千人のＰＣＢ被害者を出したカネミ油症事件で、福岡地方裁判所は、鐘淵化学とカネミ倉庫の賠償責任を認め被害者全面勝訴の歴史的判決を下した。

理事会報告

1977年9月8日㈭　於ホワイトハウス　出席者16名

●金沢5ＲＣ合同役員会報告
◇地区分割の件　市内クラブは反対しない。

●協議事項
◇年次大会懇親会全員登録の件
他の市内クラブと歩調を合せる。
◇新入会員の件　飯野健志氏
理事会にて承認。全会員に通告する。
◇創立4周年記念例会の件（10月6日）
記念講演は安田常男パストガバナーにお願いする。

臨時理事会報告

1977年9月22日㈭　於ホワイトハウス　出席者12名
◇年次大会懇親会の件　全員登録とする。
より意義あるものにするべく、全員参加に協力を要請する。

新入会員紹介

（新たに仲間が入りました。おめでとう。）

職業分類	氏　名	事業所・役名	事業所 所在地・電話	自宅 住所・電話	生年月日	所属委員会	推薦者
歯科医	飯野健志	飯野歯科医院 院長	金沢市本多町 3-10-6 TEL32-1301	金沢市本多町 3-10-6 TEL 32-3330	1931年 12月5日	国際奉仕 親睦	清水　忠 浅田豊久